

2017年8月1日

2018年3月期 第1四半期決算説明資料

(2871)

株式会社ニチレイ

【お問合せ先】

財務IR部 IRグループ

TEL: 03-3248-2167

E-mail: irinfo@nichirei.co.jp

URL : <http://www.nichirei.co.jp/ir/index.html>

主力事業を中心に業績は順調に推移

単位：億円

	第1四半期				通期				
	実績	前年同期間比		通期見込に 対する進捗率	見込	前年同期間比		前回見込比	
		増減	率			増減	率	前回見込	増減
加工食品	570	61	12%	27%	2,130	80	4%	2,130	0
水産	169	6	4%	23%	725	31	5%	725	0
畜産	215	-1	-1%	25%	860	-21	-2%	860	0
低温物流	464	4	1%	24%	1,940	71	4%	1,940	0
不動産	12	0	3%	28%	43	-3	-7%	43	0
その他	10	1	6%	17%	55	10	23%	55	0
調整額	-50	-3	-	-	-193	-4	-	-193	0
売上高合計	1,390	68	5%	25%	5,560	163	3%	5,560	0
加工食品	44	1	1%	32%	140	1	1%	140	0
水産	1	-2	-55%	19%	7	-1	-12%	7	0
畜産	3	2	148%	34%	10	-6	-38%	10	0
低温物流	27	3	14%	25%	107	1	1%	107	0
不動産	5	0	0%	26%	21	-0	-1%	21	0
その他	1	0	51%	17%	6	-0	-1%	6	0
調整額	-3	-0	-	-	-6	-3	-	-6	0
営業利益合計	79	4	6%	28%	285	-8	-3%	285	0
経常利益	81	5	7%	29%	282	-9	-3%	282	0
純利益	50	-2	-4%	27%	185	-3	-1%	185	0

為替レート	2017年度	2017年度	2016年度
	見込	1Q実績	1Q実績
米ドル/円	116.00	113.64	115.45
ユーロ/円	122.00	121.08	127.18

注：①純利益は「親会社株主に帰属する純利益」を指しています。
②為替レートの実績は1月～3月までの期中平均で算出しています。

- 1.売上高は加工食品が増収を牽引。
- 2.営業利益は低温物流と畜産が増益に寄与。
- 3.通期見込は5月9日に発表した数値から変更していない。

原材料・仕入コスト上昇を増収効果などで吸収し利益は前期並み

単位：億円

		第1四半期				通期				
		実績	前年同期間比		通期見込に対する進捗率	見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率			増減	率	前回見込	増減
加工食品	売上高 計	570	61	12%	27%	2,130	80	4%	2,130	0
	家庭用調理品	133	10	8%	24%	550	25	5%	550	0
	業務用調理品	259	42	19%	28%	930	42	5%	930	0
	農産加工品	48	-1	-1%	26%	184	-4	-2%	184	0
	海外	83	6	8%	28%	297	12	4%	297	0
	その他	46	5	11%	27%	169	5	3%	169	0
	営業利益	44	1	1%	32%	140	1	1%	140	0

- 家庭用調理品は春の新品「特から」などのチキン加工品の販売が大きく伸長したことに加え、米飯類も増収に寄与。
業務用調理品は中食ルート向けに主力のチキン加工品の拡販が進み増収。
海外は米国のイノバジアン・クイジーンによるアジアンフーズの販売が引き続き好調に推移。
- 営業利益は米や鶏肉などの原材料・仕入コストが上昇したが、調理冷凍食品の増収効果や生産性の改善などで吸収し前期並みの利益水準を確保。

コストアップの影響を諸施策で吸収し増益

単位：億円

		第1四半期				通期				
		実績	前年同期間比		通期見込に 対する進捗率	見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率			増減	率	前回見込	増減
低温 物流	売上高計	464	4	1%	24%	1,940	71	4%	1,940	0
	国内小計	379	7	2%	24%	1,564	57	4%	1,564	0
	物流ネットワーク	222	4	2%	24%	926	41	5%	926	0
	地域保管	157	4	2%	25%	638	16	3%	638	0
	海外	80	1	1%	24%	327	7	2%	327	0
	その他・共通	5	-4	-45%	11%	49	7	17%	49	0
	営業利益計	27	3	14%	25%	107	1	1%	107	0
	国内小計	27	5	20%	28%	98	4	4%	98	0
	物流ネットワーク	9	3	41%	25%	35	6	20%	35	0
	地域保管	18	2	12%	29%	63	-2	-4%	63	0
海外	2	0	8%	19%	10	-1	-11%	10	0	
その他・共通	-3	-1	-	-	-1	-2	-	-1	0	

注：エンジニアリング事業はその他・共通に含まれる

- 国内はコストアップが続くなか、業務効率化の推進や適正料金の収受に加え、東京圏・大阪圏を中心に集荷を進めたことで増益。
- 海外はオランダの冷蔵倉庫で在庫水準が低下したが、ポーランドでの保管・配送業務の安定稼働などが奏功し前期並みの利益水準を維持。

水産、畜産ともに調達コストは上昇したが安定利益を確保

単位：億円

		第1四半期				通期				
		実績	前年同期間比		通期見込に対する進捗率	見込	前年同期間比		前回見込比	
			増減	率			増減	率	前回見込	増減
水産	売上高	169	6	4%	23%	725	31	5%	725	0
	営業利益	1	-2	-55%	19%	7	-1	-12%	7	0
畜産	売上高	215	-1	-1%	25%	860	-21	-2%	860	0
	営業利益	3	2	148%	34%	10	-6	-38%	10	0

- 1.水産はタコや魚卵の取扱数量の伸長により増収。営業利益は調達コストの上昇により、主力商材であるエビの利益率が低下し減益。
- 2.畜産の売上げは前期並み。利益面では、調達コスト上昇の影響を受けたチキンは前期好調の反動が出たが、輸入ビーフの収益が改善したことなどにより増益。

(トピック) GPIF選定の新たなESG投資指数の構成銘柄に採用

➤ MSCI社とFTSE Russellの3つの新指数に選定

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が公募していたESG投資のための3つの指数全てに選定される。

名称	FTSE Blossom Japan Index	MSCI ジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数	MSCI 日本株 女性活躍指数 (WIN)
内容	国内外の環境・社会・ガバナンス要因への対応力が優れた企業のみを選定	ESGパフォーマンスに優れた企業を選定	女性雇用に関するデータに基づき、多面的に性別多様性スコアを算出し選定
対象	国内時価総額上位500位以内かつFTSE4Good選定企業	国内時価総額上位500位以内の企業	
対象範囲	ESG全般	ESG全般	女性雇用に関するデータ
構成銘柄数	151	251	212
当社の評価	3.2 (ESGスコア)	A (ESG格付け)	8.0 (性別多様性スコア)
組み入れウェイト	0.16%	0.18%	0.27%

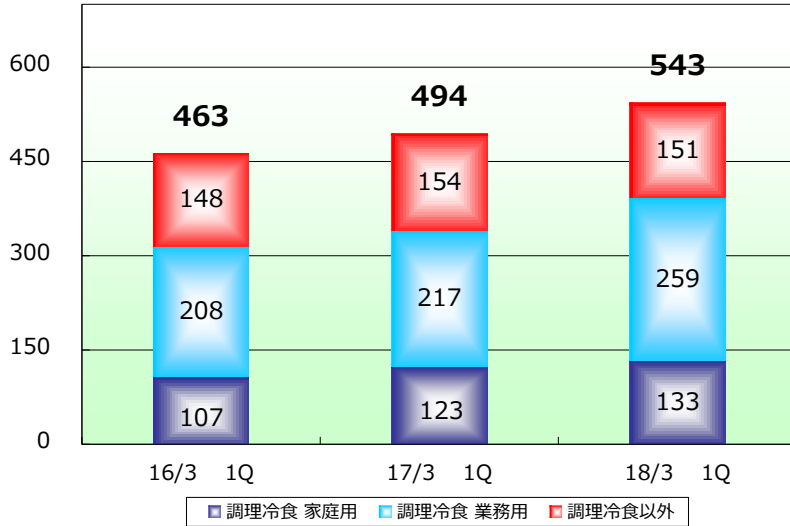
※ 内容は2017年6月時点

※ 3つの指数全てに採用された会社数は66社

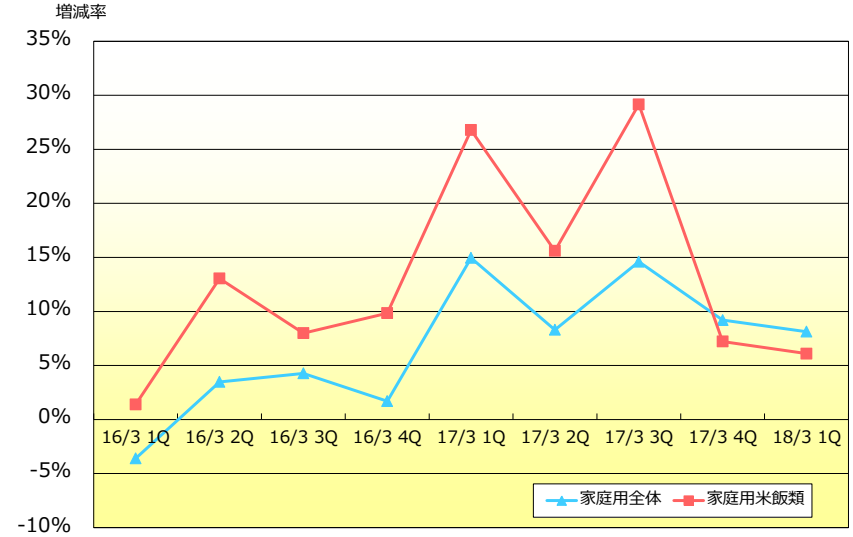
参考資料

当社の国内冷凍食品売上高の推移

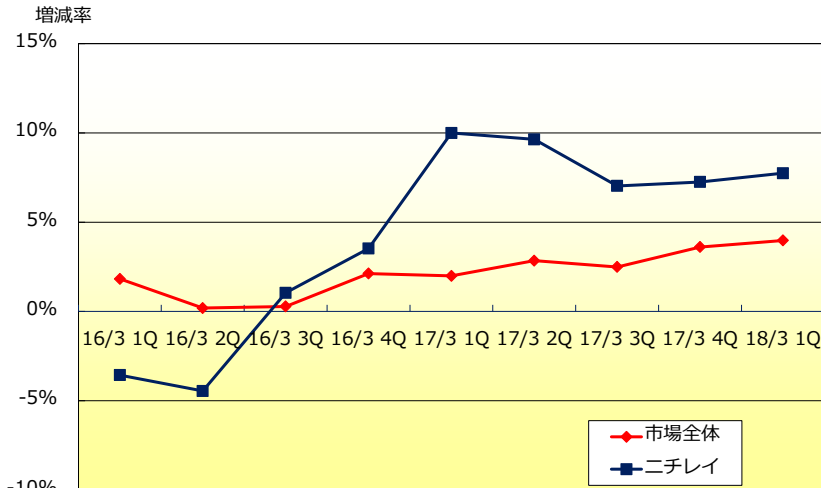
(日本冷凍食品協会定義にもとづき、加工食品のほか水産畜産の売上も含む)



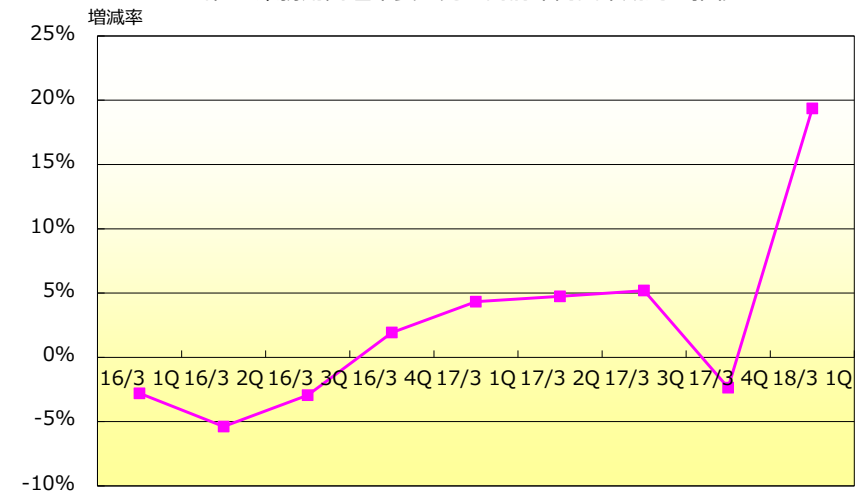
当社の家庭用調理冷食の売上高前年同四半期比の推移



SCI 家庭用調理冷凍食品 100人当たり購入金額の前年同四半期比の推移

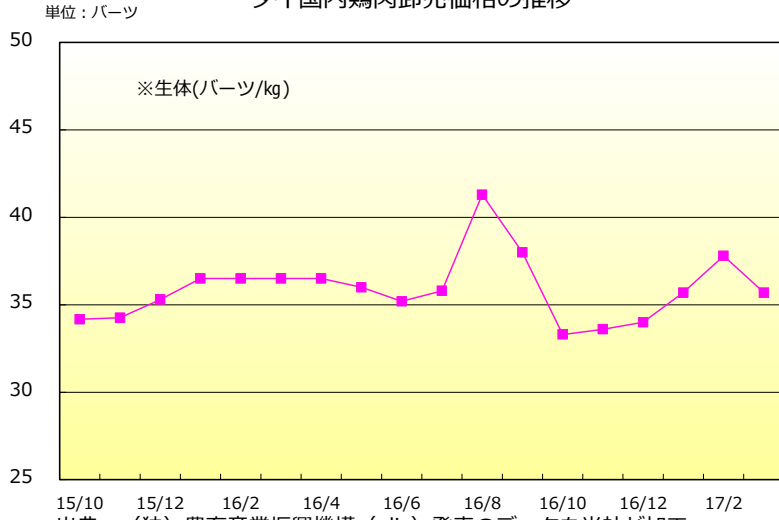


当社の業務用調理冷食の売上高前年同四半期比の推移



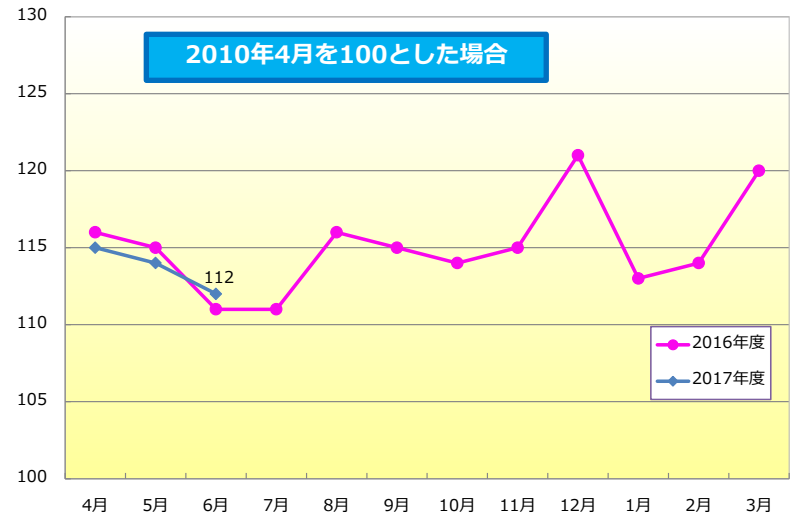
出典：インテージSCI（冷凍調理 100人当たり購入金額の前年同四半期比。購入ルート=生協店舗を含む）

タイ国内鶏肉卸売価格の推移



出典：(独)農畜産業振興機構 (alic) 発表のデータを当社が加工

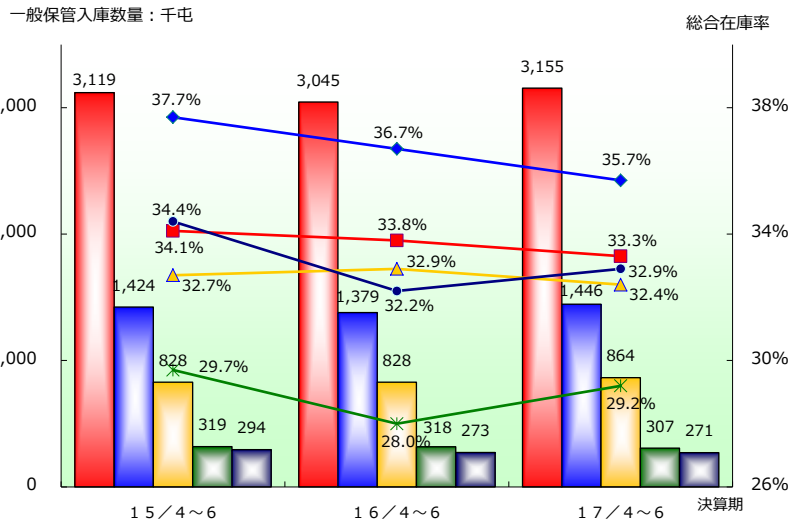
成約運賃指数(月別)の推移



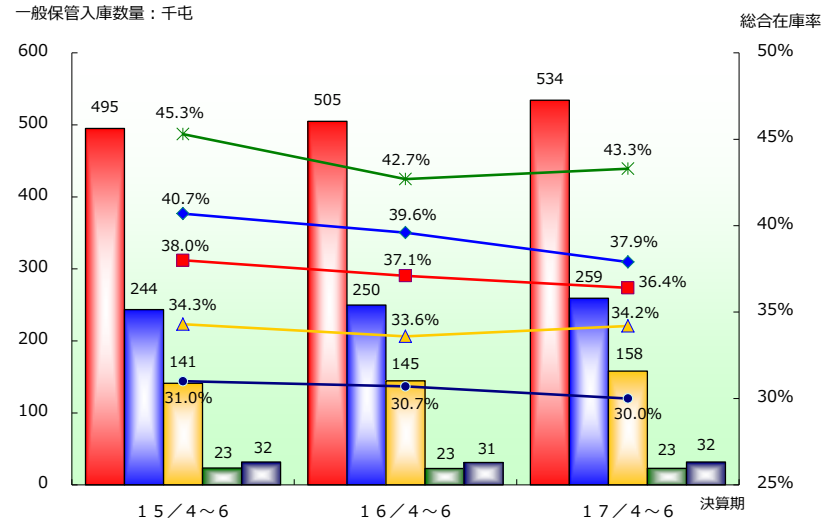
出典：(社)全日本トラック協会発表のデータを当社が加工。常温を含む全温度帯が対象

冷蔵倉庫の稼働状況(業界は日本冷蔵倉庫協会資料を当社で加工)

業界の冷蔵倉庫稼働状況



ニチレイグループの冷蔵倉庫稼働状況



注：在庫率とは冷蔵庫内の全スペースにおいて貨物が占める割合を指す。スペースには通路や作業空間などの荷物が置けない空間が通常半分程度含まれる

当資料取扱い上のご注意

当資料に記されたニチレイの現在の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただくようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与え得るリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます：

- ①ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢および業界環境
- ②米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
- ③商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
- ④新商品・新サービス開発の実現性
- ⑤成長戦略とローコスト構造の実現性
- ⑥ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
- ⑦偶発事象の結果

など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでニチレイをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。